

学校だより

朝霞市立朝霞第四中学校
〒351-0012 朝霞市栄町5-1-60
Tel: 048-466-4711 FAX: 048-467-4744
E-mail: 4chuu@asaka-c.ed.jp
文責: 校長 土橋 徹嘉

平成30年8月29日発行

第5号

目指す学校像 一人一人が輝く 明るく楽しい学校 あたたくきれいな学校

実りの二学期に

校長 土橋 徹嘉

今年の夏休み、猛暑日が続く中、生徒は県大会をはじめとする部活動での取組や彩夏祭での踊りの披露と頑張っており、大変嬉しく思いました。本日、生徒は充実した日々を過ごし、一段と逞しくなって学校に戻ってきました。これからの時季はスポーツの秋、芸術の秋、読書の秋、…と、何をするにも快適な季節となります。今月末からは、2・1年生が主体となった新人体育大会地区大会が始まります。ひと夏の成果を発揮してくれるものと期待しています。

さて、この夏の高校野球はご存じの通り大阪桐蔭高校が金足農業高校を13対2で破り、史上初の二回目の春夏連覇を成し遂げました。甲子園での戦い方からは安定感と自力ある試合運びで、強力な打線で得点を積み重ねて相手を圧倒するというのが大方の印象でした。私は、中川主将が「去年夏の甲子園で自分のミスで悔しい負け方をしました。それを取り返そうと思って、一年間、春夏連覇を目標に練習してきて、それが達成できたのでとてもうれしいです。…チームのみんなが自分のことをキャプテンとして受け入れてくれたので一年間やってくることができました。最高で本物のチームです。」とインタビューに答えている姿が印象に残りました。前評判で強いといわれるチームであっても実際に頂点に達することは難しいことです。自分のミスという悔しさを忘れずに持ち続け、高い目標を掲げ、それを仲間と共有し、切磋琢磨し、相当の努力を積み重ねるとともに、「日本一の全力疾走」「日本一の声」を常に意識するなどの誰にでもできる凡事だからこそ徹底してやり切ることが大切であるとの認識に立ち、実践してきたようです。やるべきことをしっかりと積み重ねていくことでようやく頂上に達し、実を結ぶことにつながったのだと思いました。正に、偉業を成し遂げるのに相応しいチームであったといえます。

本校ですが、日々の授業の充実とともに、部活動等においても技術やチーム力の向上、さらには人間形成にも重点を置いて一つ一つの指導を進めています。そして、誠実に頑張っており取り組む中で挨拶や礼儀などの指導の成果が現れ、本校のよき伝統の一つとなっています。二学期は授業日数が最も多く、学校行事をはじめとする教育活動が多彩に展開されます。一学期以降積み上げてきた成果が現れる時期でもあります。確かな学力、たくましい体力、豊かな人間性等、引き続き着実な一歩が歩めるよう、教職員一同、指導に当たりたいと考えておりますので、今後ともよろしくご支援・ご協力の程、お願い申し上げます。

それから、お陰様で、体育館の床の張り替え工事が終わり、きれいになりました。大切にしながら大いに活用していきたいと思っております。



【囲碁の全国大会】



【彩夏祭ステージ発表】



【八小との合同研修会】

